

第14回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会

アウトリーチプログラム 実施報告

関水 康成
日本ラグビーフットボール協会
アンチドーピング委員
スポーツファーマリスト



平成25年6月21日

アウトリーチとは？

公的・公共機関が行う普及・出張サービス

JADAやN.Fが行うアウトリーチとは？

ドーピング防止のための教育・啓発活動

【本日の内容】

- ①実施概要（目標・配布資料・方法・報告）
- ②JADAおよび関係各所の調整
- ③JADAとのコラボレーションのメリット



【実施概要】

大会開催期日：平成25年3月30日～4月7日

実施日：平成25年3月30日（土）～31日（日）2日間
→開会式当日で多くの参加者が見込まれる

実施場所：埼玉県熊谷ラグビー場Aグランド
(メインスタンド入口)

実施人数：日本協会アンチドーピング委員6名 + 薬学部学生2名
(内、スポーツファーマシスト4名)



【実施目標】

- ・「アンチドーピング活動」について認知してもらう。
- ・アンチドーピングに関する知識と正しい情報の入手先等を伝える。

【参加者数】

参加者総数：392名（3/30：220名、3/31：172名）

- ・3/30（競技者：205名、チーム関係者：8名、父兄：3名、その他：4名）
- ・3/31（競技者：129名、チーム関係者：11名、父兄：23名、その他：9名）

【参加者への配布資料】

- ・アンチドーピングクイズ～ようこそPLAY TRUE FAMILY～
(JADA) *配布資料参照
- ・ドーピング防止ガイドブック (JADA) *配布資料参照
- ・ノベルティー：カラーバンド (JADA) ピンバッジ・ボールペン (JRFU)

【実施方法】

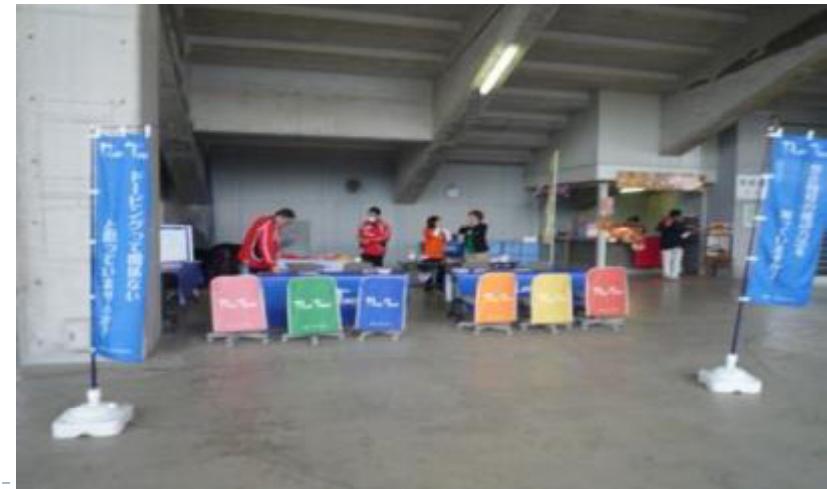
- ・大会代表者会議に出席し、活動の告知、及びチーム関係者に学生への参加協力を要請する。
- ・役割分担の確定（勧誘・受付・質問対応）
- ・ブースで回答してもらうクイズカテゴリーについて
競技者：S T E P②
チーム関係者：S T E P②③
父兄：S T E P①

→回答の確認、ガイドブックを配布し解説・説明

→質問の確認（相談）

→ノベルティー配布

→終了（1組5～10分）



【活動報告】

- ・昨年度の活動を踏まえ、積極的な声かけの結果、大会参加全校の関係者にブースに立ち寄っていただくことが出来た。
- ・参加者の多くは「ドーピングという行為（禁止されている物質を使う事等）」についての知識はあった。
→自分自身が検査を受ける認識は皆無であった。
- ・昨年、同大会に参加した選手が現日本代表遠征に参加している現況、高校生の現段階から「競技者として日常生活で気をつけなくてはいけない事」をドーピング防止ガイドブックを用いて説明した。
→禁止物質及び方法は毎年更新されることを説明した



- JADAおよび関係各所との調整等-

▶ 事前準備

- ▶ アウトリーチの実施日の決定（JRFU及び大会本部） 3ヶ月前
- ▶ JADA主催アウトリーチに見学参加（JADA）
- ▶ 使用する教材及び備品の数量と納品日の確認等（JADA）
→事前配送されるため保管場所を確認（大会本部）

▶ 実施当日

- ▶ 大会代表者会議にて挨拶および協力要請（大会本部、各チーム監督）
- ▶ ブースの確保（大会本部）
- ▶ 備品（テーブル・椅子等）のセッティング（大会本部）
- ▶ スタッフと分かるようウィンドブレーカー着用（JRFU）

▶ 撤収及び資材返却等

- ▶ 資材返却（テーブル、イス等）及び終了報告（大会本部）
- ▶ 資材返却（JADA）及び実施報告（JRFU）

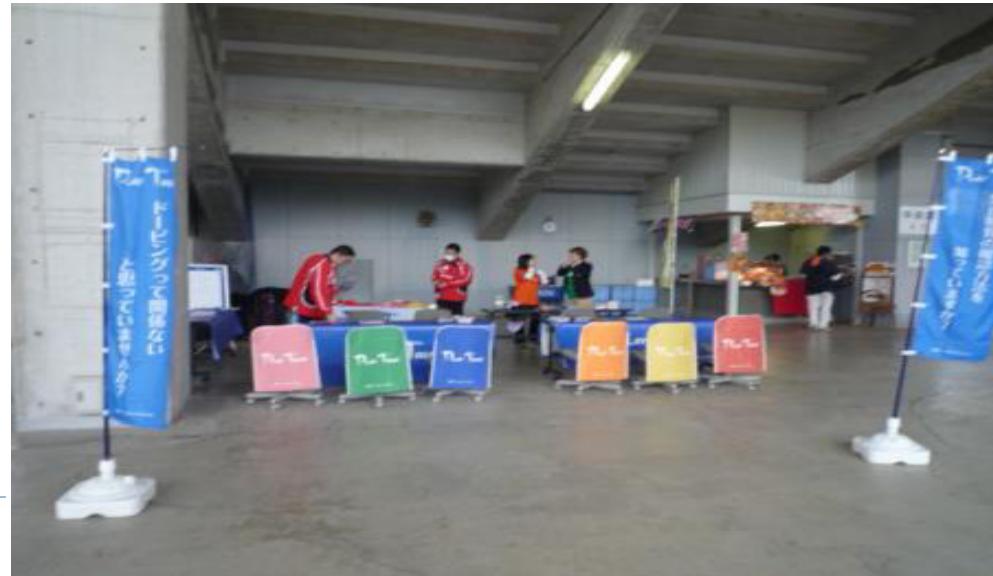
- JADAとのコラボレーションによるメリット -

▶ 教育資材提供

- ▶ 競技・教育レベルに応じた資材提供を受けられた。
→昨年はJRFU単独での開催の為、大型TV、PC等をレンタルしたため費用負担が大きかった。

▶ 備品提供

- ▶ 机カバー・チアカバー・幟などの備品でアウトリーチ活動のブースをアピール出来た。



今後ともよろしくお願ひいたします。

日本ラグビーフットボール協会
アンチドーピング委員会

